令和4年度　会計管理者マニフェスト（総括）

会計管理者	畠山　健治

【基本方針】

会計課は、現金・有価証券・物品の出納及び保管、支出負担行為に関する確認、決算の調製などを主な業務としています。

久慈市の健全な行財政運営に資するため、会計事務の適正な執行に努めるとともに、公金の適正管理と確実な運用を行います。

【重点目標】

1　会計事務の適正な執行

達成状況：**達成**

○内容

■ 会計書類の迅速かつ的確な審査と迅速な支払いを行うため、会計事務に関する留意事項等を職員に周知するとともに、不備のある書類については、随時、審査票や直接指導をし、事務の効率化を図ります。

- 会計事務に関する庁内掲示板での周知を9回以上行います。
- 例月現金出納検査における特記事項0件を目指します。

●取組結果

会計書類の不備を減らし、又、迅速な支払いにつなげるため、「会計書類作成・提出の際の注意点」などについて、庁内掲示板で周知するとともに、審査票や直接指導を行い、事務の効率化に努めました。

- 会計事務の留意事項に関する、庁内掲示板による周知は、3月10日現在で11回行いました。
- 例月現金出納検査における特記事項は、4月から2月実施分までにおいて、0件です。

2　公金の適正管理と確実な運用

達成状況：**達成**

○内容

■ 支払準備金に不足が生じないよう、常に収入支出見込額を把握し、必要に応じて関係課と連携しながら繰替運用などの対応を行うとともに、厳しい財政状況の中、運用資金は限られますが、確実な方法による資金運用を行います。また、公金を取り扱う金融機関の検査を計画的に行います。

- 指定金融機関及び収納代理金融機関の検査を各行1回実施します。
- 収納事務受託者の検査を3団体以上実施します。

●取組結果

12月までは支払準備金が不足する心配はなく、一部を大口定期預金として運用するなど、公金の適正管理と運用に努めました。一方、1月以降は例年支払準備金が減少してくるため、基金の繰替運用を行い円滑な支払いに努めました。

また、指定金融機関などの検査の実施状況は次のとおりです。

- 指定金融機関及び収納代理金融機関の検査は、11月中に全ての金融機関（10機関）を実施済みです。
- 収納事務受託者の検査は、11月までに今年度予定していた3者を実施済みです。

3　人材育成と年次休暇の取得促進（ワーク・ライフ・バランス）

達成状況：**未達成**

○内容

■ 会計課職員に必要な知識や事務能力の向上のため、外部研修への参加やOJTを通じた人材育成に取り組みます。また、新型コロナウイルス感染症対策などにより業務量が増大していますが、ワーク・ライフ・バランスの取れた職場環境を目指し、執務体制を工夫しながら、年次休暇の取得促進に努めます。

- 岩手県都市会計協議会が主催する職員研修会に職員を派遣します。【コロナ影響】
- 課内の年次休暇の平均取得日数を前年度比で25％アップ（約8日→10日）することを目指します。【コロナ影響】

●取組結果

- 岩手県都市会計協議会主催の職員研修会は、コロナ禍の中、開催が延期されたままになっており、今年度の実施は難しい状況です。なお、会計課職員の知識や事務能力の向上には、日常業務を通してOJTに努めました。
- 課内職員の年次休暇の平均取得日数は、3月10日現在で9.3日となっており、目標に若干とどかない見込みです。

※【コロナ影響】…新型コロナウイルス感染症の影響を受けることが予想される目標